

●財団だより●

第 4 回「生体の科学賞」の受賞者

「生体の科学賞」は株式会社医学書院の創立者である故金原一郎氏の「これからの新時代における医学・医療の更なる発展を期する為には、基礎医学医療研究への資金援助とその人材育成が最も重要である」との遺志に基づき 2016 年度に創設された助成金です。

基礎医学領域の有識者で構成された選考委員会、ならびに当財団理事会で審査の結果、第 4 回は下記の方へ交付されることが決定しました。

氏 名	丸 義朗(まる よしろう)
所 属	東京女子医科大学薬理学教室
役 職	教授
賞 金	500 万円
研究テーマ	転移前微小環境形成における神経ガイダンス分子の役割 Involvement of neuronal guidance in premetastatic niche formation

授与の理由

癌による死亡原因の大半は転移によるため、いかに転移を防ぐかが生命予後の向上にもっとも重要です。癌細胞の転移臓器嗜好性を決める要因については、Paget 博士の「種(癌)と土壌(転移先の臓器)」説が有名ですが、その詳細はいまだ不明です。丸博士はこの難問に長年挑戦されています。その研究は神経ガイダンス因子として有名な EphA1 を発見した 30 年前に遡ります。その後、EphA1 が肺の血管内皮に発現していること、癌細胞が EphA1 を活性化する ephrin-A1 を分泌し肺の血管内皮を刺激することにより転移に適した環境を醸成することなど、いわば「種が土壌を耕す」メカニズムを明らかにしました。丸博士は肺転移を抑制する薬剤開発にも取り組んでおられ、その研究は癌の理解のみならず治療にも大きく貢献することが期待されます。今後の研究の発展を願い、第 4 回「生体の科学賞」を授与します。

公益財団法人 金原一郎記念医学医療振興財団
〒113-0033 東京都文京区本郷 1-28-24 IS 弓町ビル 7 階
TEL 03-3815-7801 FAX 03-5800-2722